

# 「くものかんさつ」

緑丘小学校 1年 大西 佐歩



夏休みに雲の写真を家や外出先で撮りました。いろんな雲があって、きれいだなあと思いました。スカイツリーなど細かいものを切るのが大変でした。

「ボールであそんでいるいるか」  
緑丘小学校 1年 大西 佐歩



砂やパーツを入れて、イルカがボールで楽しそうにしている様子をイメージして作りました。途中、木が何回も倒れて直すのが大変でした。

# 「うみでひろったシーグラス」

緑丘小学校 1年 塩出 佳子



夏休みに海へ行ったときに拾ったシーグラスを使って、写真立てを作りました。ちょっとザラザラで端っこが丸くなっているシーグラスをお宝として集めたものを使いました。

# 「拡散のしくみ」

緑丘小学校 2年 柳 晴晶

タイトル  
拡散のしくみ

なぜ水はえのぐの色がまざるのか？

かぜ  
えのぐが大きくなって1秒から10秒。

いぼせで  
水(50ml)、えのぐ(スプーンすりすり)、スト、アウ、チ、カメラ  
はしりかき  
木をよむ花ゼンに、えのぐを入れておきました。

3分30秒...水がだんだん青くなる。

5分30秒...くらい青になる。

6分30秒...下が青くて、上のほうが青い。

12分30秒...ストーンの半分くらい青くなる。

25分30秒...ていどまるばかりで拡散が進んで見えない。

30分...拡散が速まらないうのでおどろかして見た。

きいたこと  
の拡散は、いぼせとい。

氷の中にえのぐを入れて外から見ると、  
って見える。

えのぐは水よりも重いのか？  
60回(やく)かきまぜたら拡散した。

ゆれなしの時、まざるのがおそい。ゆれていると、  
まざるのが早い。

ポイント  
えのぐは大きくなっているように見えない。  
大きくなったのではなく広がった。

なぜか  
まぜると水があたたまると、分子の間  
が広がるから、あたたまると  
ざりやすい。

なぜあたたまると、分子のうごきかばいになるのか？と思ひました。  
これは、おどろかして見た。

河出書房新社「シニアインスタ図鑑」P36.37 <http://resemom.jp/article/2018/07/25/45843.html>

なぜ水はえのぐの色がまざるのか不思議に思い調べました。

# 「バンドウイルカのひみつ」

緑丘小学校 2年 河田 優人



ぼくはこの夏、イルカと泳ぎました。とてもかわいくてもっと知りたいと思い調べました。

# 「夏休みのAED探し」

緑丘小学校 2年 平松 丞太 4年 平松 志佑



近くにAEDがどれだけあるのか知りたくて、調べてみようと思いました。いろいろなところにAEDがあって、場所を覚えておいて、何かあったらすぐに取りに行けるようにしておこうと思いました。

# 「ししゅうの小物入れ」

緑丘小学校 3年 北 美穂



刺繍をやってみたかったので、おばあちゃんに教えてもらって作りました。うさぎの目の部分を作るのが難しかったです。

「木から切り出したマイスプーン」  
緑丘小学校 4年 鹿子嶋 悠



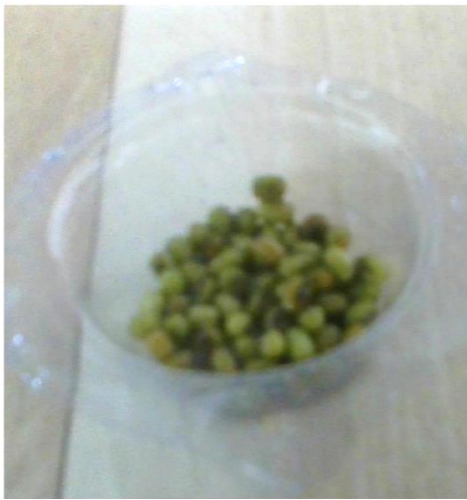
お父さんと一緒に切り出し刀や彫刻刀を使って作りました。スープが入る部分が薄くなりすぎないように気をつけました。

完成までに時間がかかったけれど、油を塗って完成した時はとても嬉しかったです。



# 「もやし育てレポート」

緑丘小学校 4年 鹿子嶋 悠



もやし育てレポート2  
2023年7月28日 午後8時  
レポート1から水に浸して5  
時間後。左の写真をよく  
見ると1より若干ふくらん  
でいるのが分かる。この商  
品は2～3日で発芽するそ  
うだ。土日はどうなるだろ  
う。

もやしは豆からできていると聞き、本当にそうなのかと思い、実験をすることにしました。

本当にいつも食べているようなもやしは育って驚きました。最後までうまく育たなかったけれど、また挑戦してみたいです。

# 「あおぞらのバラ」

緑丘小学校 4年 廣田 勇成



青空の中に咲くバラの様子を花びらの重なりを白色や濃い紫色で表現することを頑張りました。背景の空の雲の様子は、青色の絵の具を薄くのばすことで表現しました。

「船がゆらゆら」

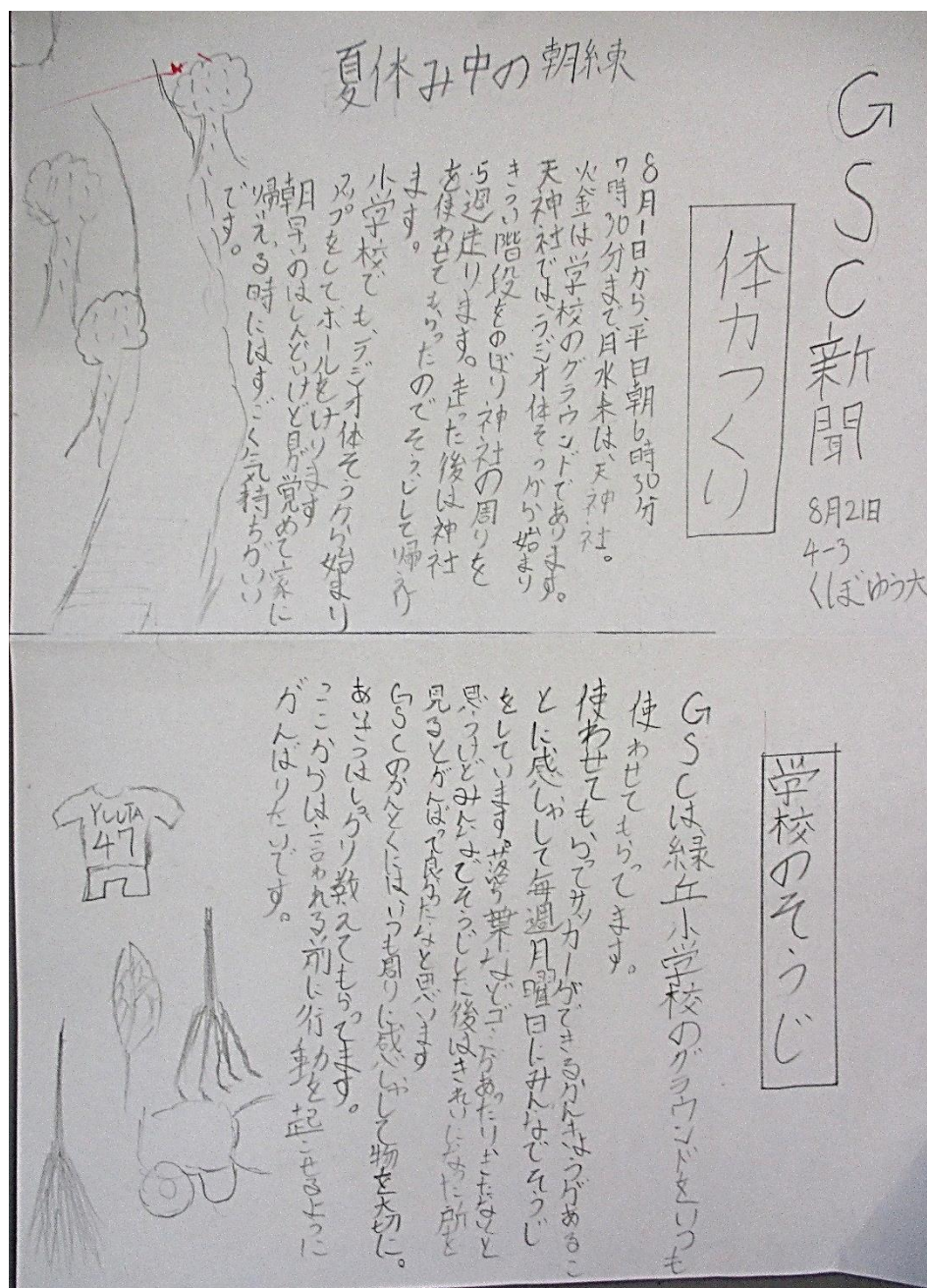
緑丘小学校 4年 勝田 悠真



かもめの口の部分をオレンジにして薄くしたところを工夫しました。

# 「GSC 新聞」

緑丘小学校 4年 久保 侑大



所属しているサッカークラブ「GSC」のことを、みんなに知ってほしいと思い、国語で学習した新聞づくりの方法を思い出しながら書きました。みんなに私たちの活動を知ってもらいたいです。

# 「にじはなぜできるのか」

緑丘小学校 4年 今村 真菜佳

にじはなぜできるのか

今村真菜佳

雨がふったあとにできるにじ。それはどのようにしてできるのでしょうか。

にじができるしくみ

にじは大気中にたくさんのおんなの水でできや氷のつぶがあるときによく見られます。なので雨が降りによく見ることが出来ます。太陽の光には多くの色の光がまざっていますが、水でできや氷のつぶに当たって中を通る時、それぞれ色はちがった曲がり方をしはんしゃします。特に青やむらぎの光は大きく曲がり、赤い光は小さく曲がります。そのため、色ごとに分かれてきれいなにじを見ることが出来ます。

屈折

水に入れたものが曲がって見えること。

はんしゃ

同じ角度はねかえること。

にじは太陽の反対にできる。太陽の光が水でできや氷のつぶに当たって、屈折してはんしゃした光を見ているので、太陽を背にしたときに見える。

ひっくり返さなきゃ

太陽が真上になる真夏ににじができる。わけは、真上からきた光が水でできや氷のつぶに入っても、屈折してはんしゃせず、真っすぐはねかえりにじができません。

光

水ででき

はんしゃ

屈折

にじになる。

光が水でできの中に入ると屈折してはんしゃする。そのとき、色ごとに角度がかわって、にじができる。

雨が降った後に虹ができることを不思議に思い、仕組みを調べまとめました。

# 「家で貯金」

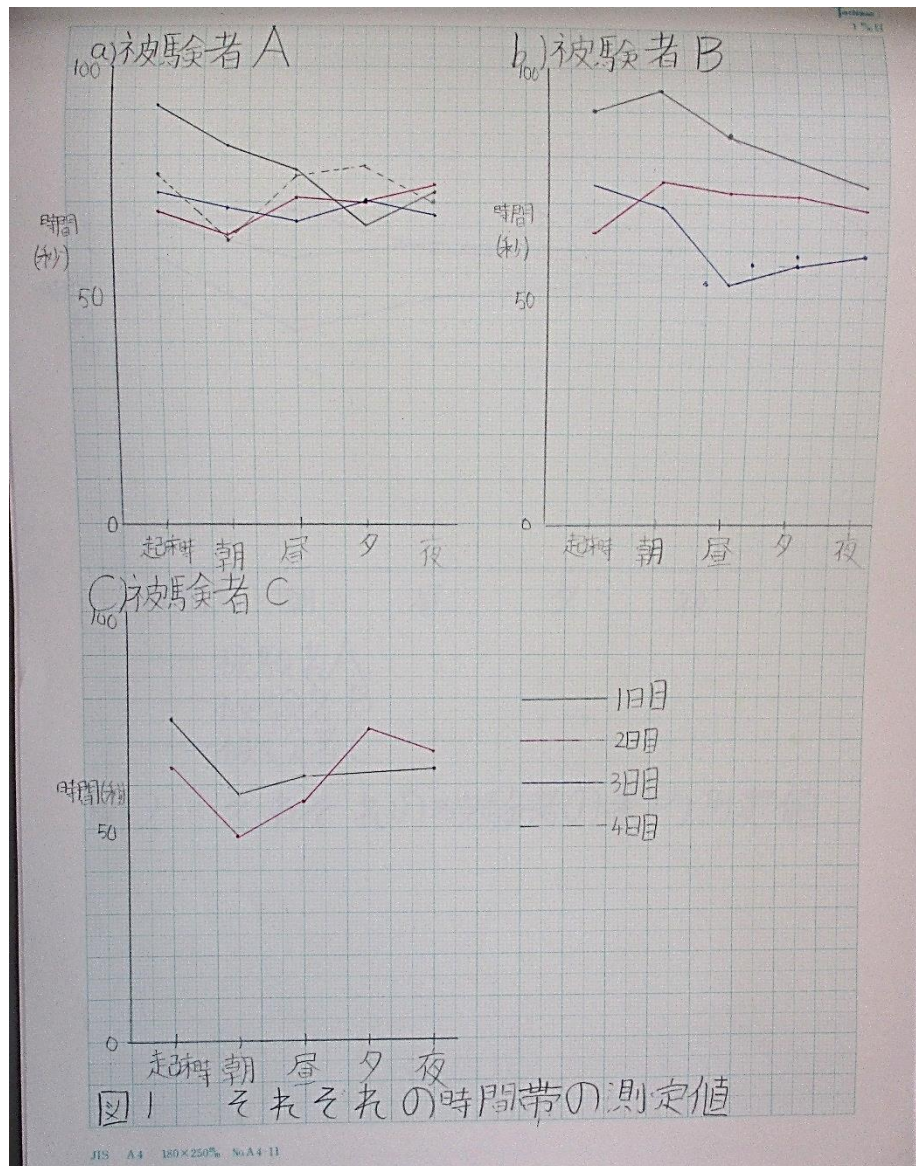
緑丘小学校 5年 板倉 莉穂



難しかったところは椅子など細かいところを一つ一つ心を込めて丁寧に作ることです。楽しく貯金箱を作ることができました。

# 「勉強する時間について考える」

緑丘小学校 6年 五郎丸 隼



いつ勉強をすると効率が良いのかという疑問をもち、実験してみました。

朝ご飯を食べた後は、休んだ脳が起きるので勉強するのに効率が良いことが分かり、朝に勉強していこうと思いました。